

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コアヴィレッジ キンダー芝公園 児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 24日		2026年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	68人	(回答者数) 22人
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職が連携し、個別支援と集団活動を組み合わせた支援ができています。子どもの特性や発達段階に応じた柔軟な対応が可能であり、多角的な視点からの支援が実現できている	パーティションや空間の使い分けにより、刺激を調整し集中しやすい環境づくりを行っている。限られたスペースの中でも個々の特性に配慮し、安心して活動に取り組めるよう工夫している。	地域の保育園や関係機関との連携を強化し、情報共有や交流機会を増やす。子どもの生活全体を見据えた支援体制を構築し、地域に根ざした事業所運営を目指す。
2	脳バランサーではICT療育、サイバーホイール等で全身運動など、机上のみならず、様々な方面での支援のアプローチが実施できる環境である	活動プログラムが固定化しないよう、子どもの興味や課題に応じて内容を柔軟に変更している。楽しさと学びの両立を意識しながら、多様な経験ができる支援を継続している。	Instagramや連絡ツールを活用し、活動内容や支援方針、保護者へのお役立ち情報など、より分かりやすく発信する。情報の見える化を進めることで、保護者の理解と信頼のさらなる向上を図る。
3	デジタルツールを活用し、個別支援計画に基づいた支援が職員間で共有され、一貫性のある対応が行われている。また、保護者に対しても電話やHUGのチャットなど、保護者が連絡の取りやすいツールを選び、密に連携が取れる体制である	朝礼・終礼や日々の記録共有を通じて、職員間で情報を即時に共有している。支援内容や子どもの変化をチームで把握することで、統一した支援と迅速な対応が可能となっている。	ペアレントトレーニングや保護者参加型イベントを継続・拡充することで、家庭での関わり方の支援を強化する。保護者が安心して子育てできる環境づくりにつなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設のスペースや構造上の制約により、活動内容によっては狭さを感じる場面がある。また隣室の音が影響し、集中しにくい環境となる場合がある	建物の構造や面積といった物理的制約により、十分なスペース確保や防音対策が難しい状況があることが要因となっている。	時間帯ごとの利用状況を踏まえた職員配置の見直しや役割分担の明確化を行い、必要な場面で適切な支援が提供できる体制を整える。
2	利用児の状況や時間帯によっては、個別対応が必要な場面で職員配置に不足感が生じることがある。	利用児の増加や支援ニーズの多様化により、特定の時間帯で人員配置のバランスが崩れやすくなっていることが背景にある。	パーティションの配置や活動時間の調整などにより、音や空間の影響を軽減する工夫を進める。集中しやすい環境づくりを継続的に見直す。
3	保護者同士の交流機会や安全面に関する取組の周知が十分とは言えない。実施している取組があっても、情報が伝わりきっていない点が課題となっている。	情報発信の手段や頻度にばらつきがあり、保護者への周知が不十分になっている。伝え方やタイミングにも改善の余地がある。	保護者向けの説明機会や情報発信の頻度を増やし、安全対策や取組内容の見える化を図る。ニーズを把握しながら交流機会の在り方も検討していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				令和8年 3月 31日	
事業所名		公表日				令和8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	4	0	0	・延床面積に対する児童の定員は港区の基準を守っている。 ・年齢が高いお子さまが多いと少し狭く感じる。 ・集団の活動が複数ある時間帯は狭いと感じる。 ・運動時などは距離が近い。	・運動時や年齢が高い児童がいる時は、特に安全に配慮して活動を行って参ります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	0	0	・利用定員に対する職員配置の決められた基準を守るだけでなく、児童が集中する時間帯には職員配置を手厚くしている。 ・個別対応が必要なお子さまが多い時には配置数が少ないと感じることもある。 ・小集団内に個別支援が必要な児童が複数いる場合は人手が足りないと感じる時がある。	・利用定員に対する職員配置の決められた基準を守るだけでなく、児童が集中する時間帯には職員配置を手厚くしていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	1	0	・パーテーションで適宜空間を区切っている。 ・子どもが使用しやすいトイレではない。 ・パーテーションで空間を区切り、子どもにわかりやすい環境となっている。	・トイレは子ども用ではないため、子ども用便座を使用しています。児童がトイレを使う際は、職員が必ずつくなど配慮しながら対応しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	1	0	・毎日終了後に清掃を行っている。 ・机や椅子、おもちゃや遊具も消毒を行っている。 ・活動内容に合わせてスペースの大きさを変更している。	・今後も児童や職員が気持ちよく過ごせるよう、清潔で快適な環境を提供して参ります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	3	0	・カームダウンスペースはないが、必要に応じて廊下等刺激のないスペースを使用できる。 ・仕切ることばはできても、個別の部屋はない。 ・クールダウンできる部屋があると望ましいと思う。 ・年齢に応じ、活動内容に応じ、ついで等を利用して場所を作っている。 ・個別の使用はまだないが、必要に応じて利用できるスペースがある。	・児童の状況に応じてクールダウン等に必要スペースを作って参ります。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	0	0	・目標を教室会議で設定し、期限がきたら振り返りを行っている。 ・毎朝、毎夕、全員で職員ミーティングを行っている。 ・経験年数が少ない職員は発言も少なく、参画できていないと感じる。 ・活動後に振り返りを行い、職員間で情報や気づきを共有している。	・全ての職員が参画し発言できるよう配慮し、職員全体で考えて参ります。
	7 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	0	0	・月に1回教室会議をおこない、それぞれの意見を共有している。 ・定期的な機会はないが、相談に応じて改善が行われている。 ・内容によって改善につながつものも、そこまで至らないものがある。 ・定期的な機会はないが、相談に応じて改善が行われている。	・会議時だけでなく、日々のミーティングで職員が意見を言える機会や環境を引き続き整えて参ります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	2	3	・外部評価の実施状況については把握していない。	・現在第三者による外部評価は行っておりません。今後会社としての検討事項になります。
	9 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	0	0	・必要に応じて研修を実施している。 ・連続的かつ体系的に研修を受講できるような配慮がなされていると思う。 ・義務付けられている研修の他に、新人研修や外部講師による研修を受講している。 ・療育スキル向上のための研修の他に、社会人として必要なコミュニケーション力を高める研修も開催している。 ・多く研修の機会がある。	・今後も1人1人の資質向上につながるような研修を開催してもらえよう働きかけて参ります。
	10 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	0	1	・支援プログラムがHPで公表されている。 ・支援プログラムは個別支援計画に基づき、日々作成している。	・HP上で公表している支援プログラムについては定期的に見直しを参ります。
	11 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	1	0	0	・保護者様にアセスメントシートを書いて頂いたり、モニタリング時の面談でニーズや課題を共有し、支援計画に反映している。 ・半年に1度は保護者と面談をおこない、個別支援計画を更新している。 ・自身が児童発達支援計画の作成は、まだ行っていない。	・引き続き丁寧なアセスメントを心がけて参ります。
	12 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	0	0	・それぞれの職員の見立てを話し合い、その児童に必要な支援を検討している。 ・担当者が職員と子どもの状況を共有し、検討している。 ・担当者が職員と子どもの状況を共有し、検討している。	・今後も一人一人の職員が「こどもの最善の利益」を大前提に、個別支援計画の検討を行って参ります。
	13 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	0	0	・毎回の活動を考える際に、個別支援計画を確認・共有しながら支援をしている。 ・朝のミーティング、終業前のふりかえり、HUGでの確認等により共有しやすい環境がとられていると思う。 ・情報にアクセスしやすいため計画をふまえた支援がたやすく行う。 ・計画書に沿って支援を行い、活動後には記入を行う。	・今後も児童発達支援管理責任者は随時個別支援計画の大切さを職員に伝え、計画をもとに支援内容を考えることを伝えて参ります。

適切な支援の提供	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・脳バランサーや感覚動作アセスメントを使用している。 ・子どもの適応行動の状況は、日々の行動観察の上に、日々の業務振り返りで共有している。 ・インフォーマルなアセスメントはなされていると思いますが、フォーマルなアセスメントについては把握できていない。 ・脳バランサー等のツールや日々の観察を通して、こどもの状況を把握している。 ・こどもの状況に合わせた目標および支援内容を検討、設定している。 ・配属時にガイドラインの存在、それをふまえた支援内容であることの説明を受けた。自身でも心がけている。 ・児童発達支援ガイドラインに沿って、個別支援計画に必要な内容を記載し、指導員が支援を行いやすいように具体的な支援内容を設定している。 ・職員間で共有しながら対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も脳バランサーや感覚動作アセスメント等のフォーマルなアセスメントと同時に、日々の振り返りのインフォーマルなアセスメントも併せて児童の状況を確認致します。
	15	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間では児童発達支援ガイドラインの存在、支援計画との関連、それを踏まえた支援の必要性を伝えて参ります。 	
	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような目的で活動をするのか、職員間で共有している。 ・日々のプログラムは個人で考えられている。 ・メイン、サブの職員間で検討・調整をおこなっている。 ・活動プログラムは個人で立案することが多いが、相談して決めることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動プログラムは個人で考える場合と、チームで考える場合があります。どちらにしても、個別支援計画に基づき、楽しく目立つ必要な練習が出来るように考えています。また、児童発達支援管理責任者や経験の長い職員がアドバイスを行いながらプログラムを組み立てています。
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話し合い、毎回の活動プログラムが同一のものにならないようにしている。 ・支援員は固定ではないので、それぞれが児童の支援計画、前回の様子を参考に日々支援を考えて実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムが固定化しようになる時は、児童発達支援管理責任者や気付いた職員がミーティングで注意を促しています。季節を取り入れたり、親子参加のプログラムを行ったり、イベントを実施するなどの工夫も行っていきます。
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもに合わせて集団、個別や集団の中でもサポートあり等活動を組み合わせている。 ・基本は集団活動が主になりますが、児童の様子に合わせて個別活動を行っている。 ・担当者が計画を作成し、個別・集団活動を子どもに応じて行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の少ない時間はどうしても個別活動が中心になります。集団活動のほうがその児童には効果的と思われる場合は、保護者様に集団活動が可能な時間帯をご案内しています。その逆のケースもあります。今後も児童の状況や児童の人数に合わせて、集団活動と個別活動を組み合わせ支援を行って参ります。
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼を毎日おこない、来所する児童や担当を確認している。 ・朝のミーティング、支援開始前等に細やかに共有・検討・調整を図っている。 ・必ず人員配置を確認し、活動内容についても共有を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も朝礼での打ち合わせの時間をしっかり確保して参ります。
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼を毎日おこない、その日の支援の振り返りやこどもの様子を共有、記録している。 ・支援終了後に毎朝終礼を行い、その日の振り返りを行って必要な情報は共有しています。 ・共有した情報は記録に残して、欠席した職員もわかるように配慮しています。 ・活動時間や余暇時間の様子を職員同士で共有を行い、記録に残している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も終礼での振り返りや情報共有の時間をしっかり活用して参ります。
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時に支援の記録をおこなったり、毎回の活動内容を記録、目標の評価を必要に応じておこなっている。 ・毎日の支援振り返りの内容は記録に残している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に入る職員は前回までの支援の記録を参考にし、担当児童に必要な支援内容を考えることが多く、それが支援の検証や改善に繋がっていくと考えます。
	22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1度モニタリングをおこない、個別支援計画を更新している。 ・モニタリングは最長6ヶ月以内に行い、支援計画の見直しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の話し合いの中で、支援計画の中での優先順位等を見直すなどを行っています。
関係機関や保護者	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者と担当者が参加することが基本である。 ・わからない。 ・会議への参加状況については詳細を把握していない。 ・相談支援事業所や保育園・幼稚園と保護者の要望があれば連携している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議で知りえた必要な情報は今後も職員間で共有し、欠席者もわかるように終礼等の記録に残します。
	24	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連携等で地域の幼稚園や保育園を見学に行ったり、こちらの支援を見に来て頂いたり連携を行っている。 ・地域の医療機関と当施設の社長が対談を行うなど連携を図っております。 ・担当者が、保育園や幼稚園など関係機関と連携し、子どもの支援を行う体制を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も児童や保護者様が関わる様々な地域機関と積極的に連携を行い、地域に根ざして児童の成長を見守る施設を作って参ります。
	25	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員はインクルージョン推進の観点を大事にしている。幼稚園や保育園の先生方にごちらでの支援をご見学頂くなど情報共有や相互理解に努め、後方支援を行っている。 ・保育園・幼稚園と保護者の要望があれば連携している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も幼稚園や保育園に将来的に移行することを踏まえ、集団活動が必要となるスキルを身に付けられるような目標を設定して支援を行って参ります。
	26	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望があれば就学時の支援シートの記載をおこなっている。 ・保護者様のご依頼で、就学時に小学校に提出する児童の資料を作成することがある。 ・小学校や特別支援学校との情報共有や相互理解については把握していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者様のご依頼で就学時に必要な書類を作成致します。
	27	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。						
28	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。							
29	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。							

との連携	(31は、事業所のみ回答)						
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	0	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センターと情報共有はおこなうが、SVや助言を直接受けたことはない。 ・連携を図っている様子は見聞きしますが、SVについては把握していない。 ・児童発達支援センターの「ばお」さんでの支援を見学させて頂いたり、必要な情報を共有してアドバイスを頂いている。 ・「ばお」さんで行われる研修に職員が交替で参加している。 	・今後も「ばお」さんで行われる研修の機会に職員が交替で参加して、専門職のアドバイスやご意見を聞く機会を有効利用していきます。
	31 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	0	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が周囲に知られたいという思いを抱いている可能性もある。 ・先日事業所利用児の幼稚園・保育園の担当教諭が見学に来られた。 ・こちらに通われていない地域のお子さんも参加して読み聞かせイベントを実施致した。 ・機会は少ない。 	・保護者様の中には施設に連れていかれることを周囲に知られたいという思いを抱いているかたもいるため、場面設定には配慮は必要ですが、インクルージョン推進の観点からはそうした機会があれば参加したいと思えます。
	32 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に簡単なFBをおこなったり、システムを使用して毎回の支援の様子を伝えている。 ・保護者からの求めに応じて、また当方からも必要に応じて、コミュニケーションの機会をもちることができている。 ・保護者様とは送迎の際に、お子様のご家庭での様子や園の様子をお聞きし、こちらでの様子もお伝えしている。 	・直接お会いできない保護者様とはお電話やHUGを通して共通理解を持つよう努めて参ります。
33 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・不定期にペアレントトレーニングを実施している。 ・今年度はご希望の保護者様を対象にペアレントトレーニングを実施した。来年度も実施予定。 ・保護者様と一緒に参加する「親子で参加イベント」を6回実施した。 ・家族が参加できる活動(ヨガ・療育体験など)を投票で決めて実施している。 	・来年度はご家族で参加したくなる活動を保護者様の投票で決めて頂き、実施する計画を考えています。	
保護者への説明等	34 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明している。随時質問があれば答えている。 ・契約時に丁寧な説明を行っている様子を見かけた。 ・ご見学や契約の際に説明を行っている。 	・今後も保護者様にわかりやすいように丁寧に伝えて参ります。
	35 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・、面談時に保護者の意向を確認している。 ・アセスメントシートを利用するなどして、保護者様の思いやお考えを確認している。 ・、担当者が面談を行い、保護者の意向を確認して計画を作成している。 	・今後も「こどもの最善の利益」の観点を踏まえた上で、ご家族の意向を面談やアセスメントシートを利用して確認して参ります。
	36 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画作成・更新の際には、説明をしてサインをもらっている。 ・児童発達支援計画は期日までに作成して、保護者様にご覧頂いたうえで同意のサインを頂いている。 	・今後も児童の状況にそった支援内容を記載した計画が作成できるように、勉強をして参ります。
	37 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの要望があれば相談や面談に応じている。 ・ご希望の保護者様には相談支援を実施した。また、普段の送迎時にも保護者様とお話しする中で、必要と思われる助言を行っている。保護者様からも貴重なご意見や、地域の情報を頂き感謝している。 	・今後も保護者様が相談しやすいような雰囲気、関係作りに努めて参ります。また、保護者様から頂いた様々な情報を活用して、教室運営に役立てて参ります。
	38 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会等実施していない。 ・実施していることを聞いていない。 ・保護者会はまだ実施したことはない。ご見学のスペースを設けたり、保護者様と一緒に参加するイベントを行うことにより、保護者様同士が交流する機会となっていることがある。 ・保護者同士の交流活動は、現在投票で決めている。 	・どんな内容の交流の場を保護者様が望んでいらっしゃるかを、現在自由投票というかたちで調べています。
	39 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談があった際には、職員間で共有しながら対応している。 ・先日も保護者からの申し入れに応じて、活動開始・終了時の挨拶の仕方を改善した。 ・保護者様からのご相談や申し入れがあった場合は、児童発達支援管理職担任者が迅速に対応している。申し入れについての体制は、重要事項説明書に記載して契約時にご説明している。 ・保護者様との日頃のコミュニケーションの中でいつでもご相談くださいという旨をお伝えしている。 ・相談や申し入れがあったら担当者が対応し、その後共有を行う。 	・今後も保護者様が気軽に相談できる雰囲気作りや関係構築できるように努めて参ります。 ・児童発達支援管理責任者だけでなく、職員が皆保護者様と日頃からよい関係が作れるようコミュニケーションの時間を大切にしています。
	40 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・システムを使用して行事の予定を共有したり、SNSで情報発信をしている。 ・HUGでは行っているが、SNSやHPは活用されていないと感じる。 ・イベント予定、教室の空き状況、その他必要と思われる情報はシステムを使い発信している。 ・SNS (Instagram) を活用し、活動の様子や行事等について情報発信を行っている。 	・インスタグラムでも情報を発信していることを、保護者様にももっと知って頂けるような取組みが必要と考えています。
	41 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報は鍵付き書庫で管理しています。 ・個人ファイルは鍵付き書庫にしまってお管理している。他にも個人情報記載の書類がある。 	・情報の管理は不十分と思われる点があったら即座に改善しながら、職員一同で意識して取り組んで参ります。
	42 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・対面、チャット、電話等好きなツールで情報伝達ができるようにしている。 ・イラストや写真などを用いて伝えるなどの配慮を行っている。 	・障害ではありませんが、母国語が日本語ではない保護者様との意思疎通では翻訳システム等を利用してコミュニケーションを取っています。
43 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を招待することがない。 ・イベントの際に地域のお子さんにも参加をして頂いた。 ・機会が少なく感じている。 	・読み聞かせのイベントの際に地域のお子さんにも参加をして頂いたことがありますが、機会は少ないと感じます。 ・地域のお祭り等に希望する職員で参加するなどの機会を設けてもいいかと考えます。	

非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策委員会等必要な委員会を設置、全体で共有している。 ・職員周知はされているが、家族にも周知されているか不明。 ・感染症に関しては、嘔吐が出た場合の実習訓練を定期的に行なっている。 ・訓練は十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルを設置し、感染症対策委員会等必要な委員会を開催するなど職員間には週知しております。 ・今後、保護者様にも事業所の対応を掲示物やSNSを通じて周知して参ります。
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練等実施しているが、期間がまちまちである。 ・非常災害の発生に備え、非常用品の準備を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画（BCP）を策定し職員間で研修を行いました。 ・避難訓練は定期的に行っていますが、年間予定を職員に周知致します。 ・今後も掲示物等で保護者様にも年間の予定をお知らせしながら、必要な訓練を行って参ります。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの状況を保護者と共有しながら、どのような対応をしたらいいのか職員間で確認・共有している。 ・受け入れ面談時やフェイスシート等で確認している。 ・契約の際に服薬やてんかん発作等の児童の健康状況を確認して記載して頂く他に、保護者様や相談支援員さんから服薬等の情報を頂いたときは職員間で情報を共有し対応を話し合っている。 ・てんかんについては確認しているが、服薬、予防接種については確認できていない。 ・服薬や予防接種、てんかん発作等の事前確認は、現時点では該当する状況がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬等の情報に関しては、今後も非常勤職員を含めた職員間の情報共有に漏れがないよう方法を考えて参ります。
	47	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に食物アレルギーのある児童には他児童との接触が無いように対応している。 ・医師の指示書がないため対応が困難。 ・食物アレルギーの有無は契約時に確認して情報を共有している。 ・おやつは持参で、イベント時は担当者が確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に保護者様へ確認し、アレルギーがある場合はどの程度かを詳しく把握して職員間で情報共有をし対応して参ります。
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画に合わせた研修や訓練が何にあたるか分からない。 ・緊急時対応に関する研修は行いが、訓練の機会は少なく感じる。 ・児童の睡眠時の見守り体制、誤飲が起きないよう玩具の管理、支援時や入室時の児童の安全確保のための職員の行動等を日々のミーティングで確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画は作成しております。それに基づく日々の注意事項はミーティング等で共有していますが、研修や訓練等の必要性も今後は考えて参ります。安全計画が何にあたるかの認識を職員間で共有していきます。
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に、契約書に基づき事故防止や非常時の対応は話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の状況を踏まえるとても大切なことなので、丁寧に保護者様に伝えて参ります。
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告書を記載、共有している。 ・教室内で共有すると共に、毎月の会議で全教室で情報共有をし再発防止の意識を高めている。 ・ヒヤリハットの基準が個人で違う為、件数が少ないと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの共有にとどまらず、再発防止に向けた話し合いや施策の時間を確保していきます。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会を設置、研修を実施している。 ・入社早々に研修を受講する機会をいただいた。 ・職員間でそのようなケースを見聞きした場合の報連相体制も確認している。 ・入社から間もないため、研修はまだ受講できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も入社後の早い段階で虐待防止の研修を受ける体制を整え、職員間でそのようなケースを見聞きした場合の報連相体制も整えて参ります。
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・社内でのように対応するか共有があり、保護者に事前に伝え、計画にも記載している。 ・職員全員研修を受けている。契約時に保護者様にご説明すると共に、児童発達支援計画にも記載して了解を頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も入社後の早い段階で身体拘束の研修を受ける体制を整え、どのようなケースがそれに当たるかを共有していきます。保護者様へのご説明も契約時に必ず行って参ります。 	

従業員向け	児童発達支援評価表
-------	-----------

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	はい	いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	運動スペースとしてはもう少し広げればよいと思う。	95%	5%
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	3	・ギリギリだと感じることもある ・基礎人員は足りているが、他教室への派遣で職員数が足りなくなることがある。	85%	15%
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	3	・教室のライトが子どもたちには少し暗い場所がある ・玄関、入り口階段については急な階段に下にあり改善が望ましい ・子どもにとって不必要な刺激が多いように感じる。	85%	15%
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	4	・机や椅子が合っていないと感じることがある。 ・机と椅子が子どもに合ったものではなく危険だと感じている。	80%	20%
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	3	・早めに日本橋にあるテントを移したい ・パーティションの活用等を工夫している。できれば、個室がもう一つあればいいと思う。	85%	15%
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	3		85%	15%
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1		95%	5%
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	3	業務改善までつながっているかは不明	85%	15%
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	5	・現状予定はない ・業務改善までつながっているかは不明	75%	25%
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0		100%	0%
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	2	・まだ公表できていない ・好評がどこまでのことを言っているのか不明なため	90%	10%
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0		100%	0%
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	2		90%	10%
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1		95%	5%
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0		100%	0%
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0		100%	0%
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	3	・イベントの時はチームで行っているが、日々の支援は個々で行っているため	85%	15%

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1		95%	5%
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0		100%	0%
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0		100%	0%
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0		100%	0%
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		100%	0%
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		100%	0%
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1		95%	5%
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1		95%	5%
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1		95%	5%
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	3		85%	15%
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11	1		95%	5%
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	8	事業所が広く周知・理解され、地域との交流を増やしていければと思う。	40%	60%
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0		100%	0%
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	6		50%	50%	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	5		75%	25%
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		100%	0%
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0		100%	0%
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		100%	0%
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	12		0%	100%

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	1		95%	5%
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0		100%	0%
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		100%	0%
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		100%	0%
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	6		50%	50%
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	4		80%	20%
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	4		80%	20%
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	2		90%	10%
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	3	アレルギー児童は把握しているものの、指示書がなかった	85%	15%
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	1		95%	5%
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	2		90%	10%
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0		100%	0%
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0		100%	0%
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	2		90%	10%